

令和2年度 マンション管理士試験解答速報 【11/29 20:30版】

問1	2	問11	3	問21	4	問31	2	問41	4
問2	1	問12	2	問22	2	問32	2	問42	2
問3	1	問13	4	問23	3	問33	4	問43	3
問4	1	問14	2	問24	1	問34	4	問44	4
問5	4	問15	3	問25	3	問35	2	問45	2
問6	2	問16	1	問26	2	問36	1	問46	1
問7	4	問17	1	問27	2	問37	3	問47	4
問8	4	問18	3	問28	4	問38	3	問48	2
問9	1	問19	3	問29	3	問39	1	問49	4
問10	3	問20	3	問30	3	問40	1	問50	3

※後日情報を更新する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは[12/8\(火\)](#)に発表予定です。あらかじめご了承ください。

TAC マンション管理士講座

令和2年度マンション管理士試験講評

(本試験所感)

全体的な難易度は昨年度より多少難しい問題が出題されたと思われる。

問題形式では、組合せ問題が2問と、個数問題が9問出題され、組合せ問題は同じだったものの、個数問題については昨年より1問増えた。

今年は、民法の配偶者居住権をテーマにした改正論点及び維持保全分野に難問が目立ち、それ以外は過去問論点をしっかり見ておけば、正解しやすい問題もあった。

(民法・区分)

民法・区分所有法とも、難化したと思われる。民法は改正点が出題されたが、施行日を考慮に入れなければ正解できないものもあったので難しかったのではなかろうか。区分所有法は条文そのものではないものもあり、現場思考が要求されている。

また、昨年に引き続き、被災区分所有法とマンション建替え等円滑化法が出題されたが、被災区分所有法は民法と合わせて出題されているのが特徴である。

(規約・会計)

標準管理規約は、団地型と複合用途型の混合問題が出題され、また、2年連続で個人情報保護法との混合問題も出題され、より応用的・実務的なものが見受けられる。不動産登記法は難問であった。

会計は過去の本試験のパターンを超えていない。

(維持・保全)

設備系法令等は過去問で対応できる問題が多く、昨年度よりも易しくなったと思われる。また、個数問題は出題されなかった。調査・診断の定義や請負契約書の内容等の実務的な新傾向の問題も増えたので、幅広い対策が必要となった。

(適正化法)

個数問題が4問も占めていたが、昨年と比べると、同程度の難易度であったと思われる。

今年も、基本論点を中心に出题されていた。